

【活動目的】 霞ヶ浦の水辺環境の保全・再生、及び環境学習

～ 清明川植生浄化施設を生き物パラダイスに！ ～

NPO法人 水辺基盤協会

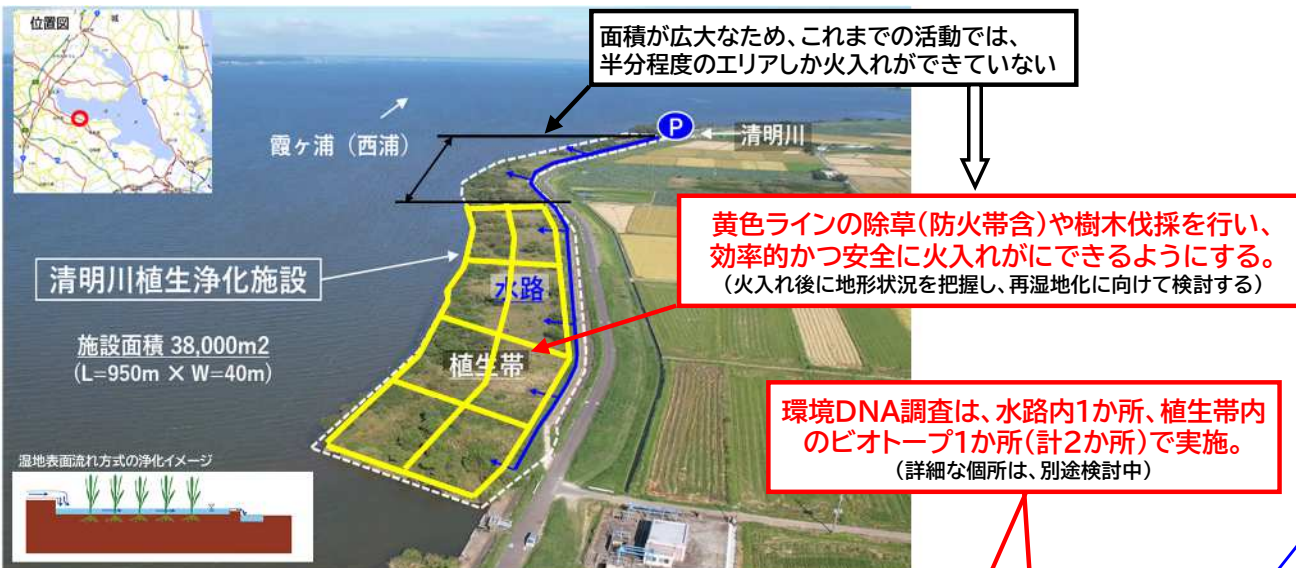


霞ヶ浦湖岸に国土交通省が整備した清明川植生浄化施設は平成8年に完成しましたが、H22年にポンプの老朽化などで休止してから、樹林化が進行し荒れ果てた状態でした。しかし、38,000m²の広大な植生帯を有する本施設は、植生帯や魚類等の生息場が減少傾向の霞ヶ浦において大変貴重な場です。

このため、水辺基盤協会は、H27年から国土交通省と連携し、毎月2回以上の草刈りや火入れ、清掃等の維持管理作業を継続し、湿地の掘削や魚道の整備を進めるなど、生き物を増やす取り組みを進めています。魚道には、フナの上と産卵し、植物も絶命危惧種が確認されるなど、徐々に効果が発現しているところです。

今回は、**昨年整備した魚道と湿地整備の効果を示すデータを得ることを目的に、施設内で環境DNA調査を行います。また、広大な湿地帯で効率的に火入れを行うための除草作業も併せて行う予定です。**

また、施設内では、親子で魚釣り体験を主体とした環境学習を開催し、人と水辺とのふれあいを育み、豊かな霞ヶ浦の復活へ繋げていきたいと考えています！



● 親子魚釣り教室の様子

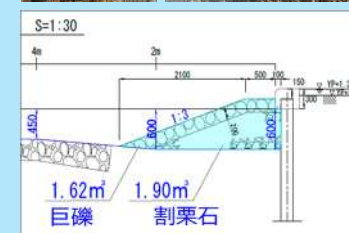


● 維持管理の様子



★2箇所目の魚道と湿地をつくりました！

- 本湖から湿地帯へ、魚をのぼりやすくするための石積みが完成しました！(R7年12月27日)



- 日本大学・安田教授から魚道整備の現地指導 (R7年7月12日)

